

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-141	12-329	慶應義塾大学
題名 (原題/訳)		
Safety and efficacy of acamprosate for the treatment of alcohol dependence. アルコール依存症治療のためのアカンプロサートの安全性と有効性		
執筆者		
Yahn SL, Watterson LR, Olive MF.		
掲載誌		
Subst Abuse.2013;6:1-12. doi:10.4137/SART.S9345.		
キーワード		
要 旨		
<p>アカンプロサート (カルシウム・アセチルホモタウリン) は、断酒の後、アルコール依存症の患者で渴望感を減らし、断酒を継続することがいくつかの臨床試験で有効性が示されたアミノ酸モジュレータである。アカンプロサートは安全で一般に高い忍容性をもっているが、すべての研究がプラセボより優れている臨床的有効性を示したわけではない。加えて、アカンプロサートの作用の正確な神経化学的機序は、まだ同定されていない。本総説で、我々はアカンプロサートの安全性、効能と薬物動態学的特性に関する現在の臨床データを要約し、その潜在的な作用機序について言及する。さらに忍容性と患者の選好問題も検討し、アルコール嗜癖の医学と治療でアカンプロサートのしめる位置に関する議論をする。</p>		